

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	美術 I	単位数	2 単位	学年・学科・コース	1 年・普通科・普通コース、スポーツコース
使用教科書	高校生の美術 1 (日本文教出版)		副教材等	なし	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5 6 7	(絵画) 鉛筆による表現 ・静物デッサン	<ul style="list-style-type: none"> 対象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 対象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。 表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 主体的に鉛筆による表現の創造活動に取り組もうとしている。 	授業態度 授業作品 制作レポート
8 9 10 11	(絵画) 切り絵による表現 ・五島の魅力を表現する	<ul style="list-style-type: none"> 自然や文化、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、主題を追求して創造的に表す。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 自然や文化、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、主題を追求して創造的に表している。 主体的に切り絵による表現の創造活動に取り組もうとしている。 	授業態度 授業作品 制作レポート
12 1 2 3	(デザイン) ペン画による表現 ・自分自身が大切にしている言葉を表現する	<ul style="list-style-type: none"> 目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成する。 デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表す。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成している。 表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表している。 主体的にペン画による表現の創造活動に取り組もうとしている。 	授業態度 授業作品 制作レポート
随時	(鑑賞) ・トリックアート作品 ・石田徹也の作品 ・岡本太郎の作品 ・長崎の世界文化遺産	<ul style="list-style-type: none"> 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 	授業態度 鑑賞レポート